

## 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	防災マニュアル作成と避難訓練実践事業
事業主体 (連絡先)	阿智村
事業区分	安全安心な地域づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	687,203円 (うち支援金: 549,000円)

### 事業内容

5地域の自主防災組織・防災マニュアル作成の取組ができた。防災マニュアルに沿った訓練を8月に実施予定であったが、新型コロナウイルス蔓延により年度内に実施することができなかつたため、来年度8月に実施を予定している。

- ・中関区自主防災組織・防災マニュアル作成
- ・智里西自主防災組織・防災マニュアル作成
- ・浪合自主防災組織・防災マニュアル作成
- ・上清内路自主防災組織・防災マニュアル作成
- ・下清内路自主防災組織・防災マニュアル作成



【協議の様子】

### 【目標・ねらい】

- ①公助依存意識払拭・要配慮者避難対策
- ②7自治会の組織・マニュアル作り
- ③住民70%以上の公助意識払拭

### 事業効果

①9地域で協議に入り、公助意識の払拭を図った。自治会連合協議会で防災について協議が行われ、議会も防災に関する発言増加した。防災講演会の実施数も増加、防災意識の高揚が図られたことはうかがえる。

要配慮者避難対策は「支え合いマップ」を作らなくても地域の住民は要配慮者を把握できており必要ないとの見解があった。

②9地域で協議し、5地域が組織・マニュアル作りが完成した。

※自己評価 【 C 】

### 【理由】

コロナ蔓延により、止む無く協議中止した地区があり、目標達成できなかった。同様により訓練も実践できなかった。

### 今後の取り組み

今後、コロナウイルス感染症は収束へ向かっていくと思われる。阿智村の残り4地域での自主防災組織及び防災マニュアル作成を進めるとともに、今年度作成した地域においても訓練を実践して組織及びマニュアルに問題がないか検証、より現実的なマニュアルへ変更していく。

支え合いマップ作成についても地域住民の理解を得て作成を進めていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある